

●ガバナー 築館 智大 ●会長 大橋 央雅 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

### 第 2273 回 例会 記録

《職業奉仕委員会担当例会》

2024 年 1 月 18 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1705

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



#### 《会長要件》大橋会長



昨日今日と暖かいです。本当は寒くなる時期ですので皆さん体調管理に気をつけてください。

友達に自衛官の方がいらして、しかも輸送艦乗りの方なので現在能登半島の沖合に居て頑張っていると思います。今は全然連絡が付きませんが落ち着いたらお酒でも飲んでお話を聞こうと思っています。避難されている方、救助に行っている方の安全であることを願うばかりです。

コロナが落ち着いて親戚付き合いが復活した方もいらっしゃると思いますが、私も 4 年ばかり正月に来ることがなかったのが今年は来まして、甥とか従妹の甥とか姪とかはとこなどのちっちゃい小悪魔どものお年玉くれ、くれ攻撃がありまして、我が政府は財政がひっ迫しております。今迄払っていた先輩諸兄のご苦労というものの方が良くわかるお正月でした。私も 20 年くらい前までは貰っていたのですからしょうがないですね。

2 月 10 日にはよろず相談がございまして、先日デーリー東北と Be FM に伺って告知のお願いをいたしました。皆様もよろしくお祈りいたします。

本日は職業奉仕委員会担当例会です。クラブに 1 年、10 年、40 年と在籍していても、他の会員の仕事内容をあまり知らないという方も結構多いと思います。私も TENT 屋、シート屋でございまして、畜産関係の断熱だったり、農業機械のコンバインなどの部品も実は作っています。みなさんのイメージするシート屋とはちょっと違った事もしております、そういうように他の方の会社は何をやっているか、お互いを知る、それによって「世界に希望を生み出そう」と、そういうロジックはマッキナリー会長もおっしゃっている事でございますので、今年度においしい職業奉仕委員会担当例会になるのではと思います。本日もよろしくお祈りいたします。

#### 《出席報告》西尾委員長

正会員数 28 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 19 名。出席率は 73.1%です。



#### 《配偶者誕生日》



石橋会員



野澤会員

#### 《結婚記念日》



下田会員



西尾会員

#### 《幹事報告》伊藤幹事



先週行われた理事役員会報告

○2 月のプログラム、2 月 1 日 (木) コミュニケーション委員会担当例会、2 月 8 日 (木) は 2 月 10 日 (土) に変更してよろず相談報告例会、よろず相談終了後こちらの会場で行います。

2 月 15 日 (木) 22 日 (木) は祝日の週に付き休会、2 月 29 日 (木) ゲストスピーチ又は会員卓話例会です。

○高橋会員から 12 月末で退会したいとの申し出があり承認しました。長い間体調がすぐれない中在籍いただきありがとうございます。

○神戸西神 RC の鈴木さんから、コロナで延期になっていた八戸訪問を 5 月頃に伺いたいとの連絡があり、

以前よりの案件でしたので受け入れることを承認しました。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。

○地区より能登半島地震支援金のお願いが来ております。今週と来週の例会で寄付を募りますのでよろしくお願いいたします。

・南浦項より能登地震へのお見舞いのメールが届いています。

・慶徳会員の奥様が1月3日にお亡くなりになりました。ご本人の希望で新聞広告等はすべて終わってから出しますという事でしたのでお知らせが遅くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

・よろず相談のポスター、チラシが出来ました。お持ち帰りの上告知をお願いいたします。

・ザ・ロータリアン英語版が届いています。

### 《ニコニコボックス》 櫻田副委員長

大橋会長：今年もよろしくお願いいたします。

伊藤幹事：今年もよろしくお願いいたします。

黒田会員：写真ありがとうございます。

石橋会員：今年もよろしくお願いいたします。

赤穂会員：野澤さん、新年互礼会ありがとうございました。

久保田会員：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

吉田賢治会員：1月14日（日）青森ロータリークラブ主催の能登半島災害支援募金活動に参加してきました。1月13日（土）1日と1月14日（日）半日で約90万集まりました。

出員会員：本日は職業奉仕委員会担当例会となります。発表していただく吉田立盛会員、櫻田会員、西尾会員、皆様よろしくお願いいたします。

配偶者誕生日：石橋会員、野澤会員

結婚記念日：下田会員、西尾会員

### 《職業奉仕委員会》 出員委員長

ここからは私の方で進めさせていただきます。以前より職業奉仕の手引きという事で皆さんに紹介させていただきました。その中に書いてあるものを色々紹介してきましたが、なぜこのように皆さんの職業を紹介していただくかという、職業奉仕の概念という所に、「例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う」と書いてあります。何が言いたいかというとロータリーの職業奉仕という活動は色々と思えますが、私なりに解釈すると、会員の皆さんが、会員それぞれの職業を深く知ることによって、職業奉仕というものをより一層高めることが出来るのではないかと思います。当クラブの職業分類表を見ると職業分類ごとに書いてあり、例えば西尾さんは経営管理となっていますが、一言で経営管理と片付けられるものではないと思っていますし、吉田立盛さんであればIT関係ですが、それももう少しかみ砕いて説明する必要があるのではないかと思います。かみ砕いて説明してもらうことによって、また



更に職業について色々な刺激や学びがあるのかなと思っていますので、そこを会員の皆様に説明していただいて、今日は吉田さんと西尾さんと櫻田さんに発表していただきますが、皆さんでそれを聞いて何か気づきとかあればいいなと思っています。職業奉仕の手引きには「地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす」という事も書いてあります。当クラブでは「よろず相談」という他のクラブではやっていない素晴らしい奉仕活動があります。「よろず相談」年がたつにつれて衰退していけばダメで、発展していかなければならないと思いますので、今回の例会をきっかけに発展させられる何かが見つけられればいいなと思っています。

### 《吉田立盛会員》



皆さん明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

先程出員さんからIT関係と紹介されましたが、私実はウインチ合同会社というIT系の会社とNPO法人mazel.beという福祉事業をやっている法人と、父が去年亡くなりましたが父の生前は農業と三つの収入源があるというか仕事をしていて、目標は久保田さんのように映像をやったり福祉をやったりと、稼働力のある人間になりたいと目標にしていますが、人に何屋さんですかと聞かれると何屋さんかと答えにくい状況です。

12月にも新聞等でも福祉事業について取り上げて頂いたので、VRとかの話をして多分わかりにくいと思うので、今日は福祉事業について、今やっている事をちょっとご紹介いたします。NPO法人mazel.beと言うのは、前にもちらっとご紹介しましたが、インクルーシブな社会を作りたい、インクルーシブと言うのは社会的な包摂ですが、多様性が享受されている社会、mazel.beと言うのは障がいのある人もない人も混ざり合った社会になってほしいなという意味で「混ぜるべ」と言うのを英語にしてちょっとカッコよく法人名にしています。差別や偏見のない社会、みんなが暮らしやすい社会にしたいなという事でやっています。mazel.beという法人は平成31年に私が理事長になった時に名称を変更しています。令和2年に岩手県久慈市で放課後児童デイサービスという障がいのあるお子さんと、学童保育、小学校の脇にあるような児童館を同じ建物の中で一緒にやるという事業を定員50人で開始、翌年2カ所目の放課後デイサービスを久慈市でスタートし、同じ年に久慈市内にある学童さん、八戸市も久慈市も、青森県も岩手県も日本中ほとんどが親の会、PTAとかの親の会が、学童運営協議会と言うのを作って運営しているのがほとんどなのですが、保護者達なので経営のノウハウがなくて、ほとんどの施設が学童の支援員さんを採用するのが大変だという事で、やめるところが増えてきていて、10年くらい前は7割くらいが親の会の運営だったのが、今は7割が私たちのようなNPO法人とか、





いわゆる法人格を持ったところが運営するというように変わってきていて、令和3年の2カ所目の学童も親の会運営だったところをうちに運営してくれないかという事で受けたという事です。令和4年には早期養育事業と言って小学校へ行く前のお子さんが、3歳児健診などの血液検査で引っかかった子たちにアドバイスをすることをしたり、今年は盛りだくさんで、花巻市に放課後デイと学童の一体型をスタートすると、久慈市で児童発達支援事業という事業をスタートすると、北上市にあるNPO法人グラスさん、グラスという法人が事業譲渡をしたいという事で引き受けて北上市で事業をスタートしています。こんなに矢継ぎ早に色々な事業を何のためにやっているのかというと、全て児童福祉事業なのですが、子どもの権利、権利条約というものに日本は批准していて、子どもの権利が守られる社会にしたいと思ひやっています。放課後児童クラブと放課後デイサービスの一体型事業と言うのは、差別がなく多様性が尊重された、そういう環境を作りたいという事、早期養育事業、児童発達事業と言うのは、発達の違いによって適切な育ちを享受できるような仕組みを作りたいと思っています。育つ権利という事です。ここに書かれている4つの権利は子供の権利条約の最も大切な4つの権利と言われている事です。今年の4月からは子供の第3の居場所事業というのをスタートしますが、「親ガチャ」と最近言われるのをご存知ですか、どこの家に生まれるか、お金持ちの家に生まれれば色々な習い事をさせてもらえたり、遊びにも連れて行ってもらえるのに、お金のないところに生まれて「人生終わった」と言っている子供たちが最近多くて、そういう家庭環境の違いで格差が生まれないようにする事業と言うのが、子どもの第3の居場所事業となります。そういった子どもの権利が守られた状態で育てるような社会にする事業を矢継ぎ早に行政から委託を受けたりしながらやっているのが、今mazel.beがやっている事です。発達の違いだけで行き場所が違うという現状、小学校に行っている子供たちで障がいのない子は学童に行くけれども、障がいのある子は放課後デイサービスに行っているという事を解決する為に1カ所にしてCOCO.Rという事業でやっているのか、経済的理由で機会が奪われている子供たち、お金の沢山ある子供はいろんな経験が出来る、貧乏世帯の子どもは自宅で1人で過ごしている、ほとんどスマホゲームをやって過ごしています。今、相対的貧困が7人に1人と言われています。7人に1人と言うのは結構な数字ですからそこにアプローチしたいと思ひ子ども第3の居場所事業と言うのをやっています。去年の文科省の調査によると、世帯収入の高い子と低い子では2倍から4倍の体験格差があるという数字が出ていて、それが先の人生の生きる希望に繋がる格差が生まれるとの予想です。ですから今年B&G財団という海洋資源とかの開発をやっているところから、3年間で9,500万円の補助を受けて子供の体験機会の格差解消とか、虐待防止とか不登校のお子さんへの対応みたいな事業をスタートさせています。今現在うちの法人は、mazel.beを久慈市で7つの事業、本部が久慈市にあって花巻、北上でも7つの事業をやっている

ます。これからもう少し広げて、いろんな地域で差別とかのない、いわゆる子どもの権利が守られている東北地方にしたいなと思ひ頑張っています。私が代表になってからの決算額の推移ですが、結構伸びてはいるのですが、矢継ぎ早に事業をやっているのでも2期ほど赤字になっている年もあります、それも先行投資だと思ひ頑張っています。

これから耳にするだろうキーワードがあって、ニューロダイバーシティという言葉が、今盛んに児童福祉の業界では言われています。脳の多様性、人は生まれながらに顔が皆違ったり、体型が違ったり、能力が違ったりするのと一緒で、脳にも体と同じように違いがあるだろう、その違いによって人生に格差が生まれないようにしたいと言うのが、今のスタンダードな考え方で、障がいの有る、無いという事ではなくて、2021年の文科省の発表では普通学級、特別支援学級とかではない普通学級の中の8.8%に何らかの発達の偏りの有る子供たちが在籍していて、特別支援学級の13%と合わせると、ほぼ2割のお子さんに脳の発達の違いがある、その2割の人を排除しない社会、その2割の人が排除される社会はおかしいですから、その2割の人が居て当たり前の状況、そういう人たちが育ちやすいような環境を作ると言うのが今私がmazel.beで取り組んでいる事業になります。

今は月の半分くらいは花巻や北上をウロウロしていますので、花巻や北上に来ることがありましたら声をかけてください。

## 《櫻田会員》



私の会社は「有限会社桜紙業」と言います。主に包装資材と言われるものを扱っております。先程ゴミ袋と取扱品目などをまとめた資料を配らせていただきました。扱い品目はそこに書いてある通り袋とか容器とか消耗資材、紙製品、梱包用品、その他衛生用品などを扱っている会社です。主な同業者様は、岩岡さんとか高速さんとか大きな会社さんばかりです。ありますので、もしお取引があるようでしたら私にも声をかけてください、お願いします。

社名の由来は、祖父が弘前の方で起業しました。弘前と言えりんごかと思ひますが、昔、新聞紙を、今で言うリサイクルです。新聞紙をカットして手で貼ってリンゴ1個1個を色付けさせるための袋を手作り加工したのがスタートです。それで「桜紙業」になっています。

今、SDGSだなんだといわれている中で私どもも商品を開発というか、環境にやさしいものを世の中に出していかなければならないという事でメーカー各社取組んでいます、その中から今日はゴミ袋を持ってきましたのでお見せします。お配りしたのが資料にも書いてありますが、超強い3層構造のゴミ袋です。こちらは従来のゴミ袋です。見た目はほとんど同じですけども、従来品の方が厚いです。厚い方が本来は強いはずですが、ペンで刺してみますと軽い力でも穴が開きます。こちらはわかりにくいかもしれませんが、最初ビューと伸びる感じで中々穴が開

きません。ようやく穴が開きましたがこのように 3 層になっている事で強いです。私たち、ゴミになるようなものばかり販売していますけれども、色々と努力もしていますというお話です。もし何かありましたら携帯番号も書きましたのでお電話ください。よろしくお願ひします。

#### 《出員委員長》

吉田立盛さん、櫻田さんありがとうございました。西尾さんからも発表していただくことになっていましたが、時間が無くなったので、西尾さんには再来週のコミュニケーション委員会担当例会の中で発表していただきますのでよろしくお願ひいたします。このような機会はずごく良い機会だと思ひますので、

又の機会にこのような事をやっていければいいなと思ひます。先ほども言ひましたが、職業奉仕分類表にはまだまだ未充填の職業がいっぱいあります。2 月 10 日のよろず相談、ほとんどが法律相談なので、その他の相談をもっともっと受けられるようにしていかなければいけないと思ひていますが、現状は会員数も少なくなっているため、未充填の職業を中心に、私なりのネットワークを使って、銀行関係、土地家屋調査士、不動産関係、建築設計、住宅販売の会員などが増えれば、よろず相談に来てもらえる方の幅が増えるのではないかと思ひますので、会員増強にも力を入れながら、よろず相談をより良いものにしていければと思ひますので、皆様の御協力をお願ひいたします。